



# 山里は 持続可能な 世界だった

原村政樹 監督作品

かつて村人たちは自然を壊さずに暮らしていた!

そこに豊かな未来を築くための大切な知恵がある

プロデューサー◆鈴木(神出)敏夫 撮影・編集◆原村政樹 音楽◆鈴木光男 収録スタジオ◆moi 語り◆的場浩司

上映時間 84分

© 2024 映画「山里は持続可能な世界だった」製作委員会 < [suzutoshi0620@nifty.com](mailto:suzutoshi0620@nifty.com) >

G  
映倫

映倫  
124656-A

# 山里は貧しく寂しく何もないと人びとは 街へ街へと移り住んでいった しかし本当にそうなのだろうか？

出演者インタビュー

千島信行

厳しい時代だったけれど、  
勢いのあった時代だったね。

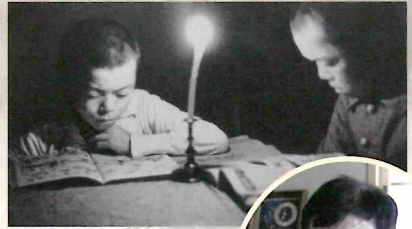


## 監督メッセージ

高度経済成長以前の山里の暮らしは環境と共存する社会だった。

それは山を慈しみ 山と共にある暮らし。そして村人たちは助け合いながら暮らしていた。

そこで当時を記録した膨大な記録写真を手掛かりに、当時を生きた人達と当時の生業の継承者達の話に耳を傾け、持続可能な共生社会を築くためのヒントを伝えたい。



鈴木久恵

子供の頃から家の仕事を手伝うことは  
当たり前になっていた。

原田政雄

昔は集落に獣が出たなんて話は  
聞いたことがなかった。

笠原好男

すぐに壊れる製品を注文する大手  
ホームセンターの注文を断った。

菅家藤一

風雪に耐えて育つ山の恵みに  
感謝しながら必要な分だけを採用する。

山中正彦

50年後、林業が復興することを  
願って山の整備を続けている。

瀬能紀夫

暮らしに欠かせない薪は  
皆で分け合って暮らしていた。

黒田豊昭

森の生き物と共存できる林業を  
江戸時代から続けてきた。

久米悠平

歴史的に重要な役割を果たして  
きた生業を消滅させたくない。

山里は持続可能な世界だった 映画「山里は持続可能な世界だった」製作委員会事務局 〒350-1133 埼玉県川越市砂 846-3 鈴木敏夫 Tel&Fax.049-242-4811

2024年 9月6日(金)～9月19日(木) ヒューマンラストシネマ有楽町  
東京都千代田区有楽町2-7-1 イトシア・イトシアプラザ4F Tel.03-6259-8608

2024年 10月5日(土)～10月18日(金) 川越スカラ座  
埼玉県川越市元町 1-1-1 Tel.049-223-0733 (火・水休館)

ヒューマンラストシネマグループ ttcg.jp  
ヒューマンラストシネマ有楽町



川越スカラ座 k-scalaza.com



※上映時間は各劇場にお問い合わせください